

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 ミリーのすてきなぼうし 101~113

想像を広げれば、  
だれでも自分だけの  
ぼうしが持てるんだね。



- 散歩の途中で特別なぼうしを買った女の子のお話です。
- 場面の様子や登場人物の行動を、想像しながら読み取ります。
- 大きさも形も色も、想像すれば自由自在に変わる、素晴らしいぼうし。
- クジヤクのぼうし→ケーキのぼうし→花でいっぱいのぼうし→噴水のぼうし
- 気付けば周りの人々がみんな、それぞれ違つぼうしを持っていた。

4年 新聞を作ろう 92~99

見出しや写真・図などを  
入れ方を考え、ていね  
いに仕上げよう。



- 知りたいことが分かりやすく伝わるように工夫して新聞を作ります。
  - 1 新聞の特徴と工夫を確かめて、どんな新聞を作るかを話し合いつ。
  - 2 取材をし、メモを取る。
  - 3 わり付けを決める。
  - 4 記事を書き、新聞を仕上げる。
  - 5 感想を伝え合う。
- 記事の大きさと入れる場所を決めることを、「わり付け」というよ。新聞名も入れよう。

6年 星空を届けたい 89~97

だれもが楽しめるユニバーサルデザイン  
の番組ができた。

さらに、耳の聞こえない人やお年寄り、子どもも一緒に楽しめる工夫を加えた。

← プラネタリウム・ワーキョップ  
← 星の語り部  
← ネタリウムを、自由に話せたり遊  
んだりできる場にする企画  
← うクラブ活動  
← 目が見えない人にも体験してもらつ企  
画  
← が生まれる。

● 目の見えない人にも楽しめるプラネタリ  
ウム作りの活動について書かれた説明文  
です。

5年 モモ 92~99

時間の境界線にさかさま  
には、入れたのかな?



- モモが、時間じろぼうに盗まれた時間を取りもどしに行く物語を読みます。
- 1 町の人々は、時間貯蓄銀行の灰色の男たちに時間を盗まれて、どんどん忙しく、いらいらしていた。
- 2 町の人々を救おうと考えたモモは、灰色の男たちに追われ、不思議なカメに導かれて、時間の境界線の内側に逃げこんだ。
- 3 カメに導かれ、すべてが逆向きになる「さかさま小路」にある「じ」にもない家にたどり着く。

● モモが、時間じろぼうに盗まれた時間を取りもどしに行く物語を読みます。

1年 おむすび ころりん 84~91

- 包みから転がり出たおむすびを追いかけ  
るおじいさんのお話です。
  - リズミカルな文章です。場面を想像しながら、音読のしかたを工夫して、楽しく読みます。
- おむすび ひとつ じろがつて、  
じろころ じろりん かけだした。  
……  
おむすび じろりん すつとんとん。  
じろころ じろりん すつとんとん。  
……

3年 鳥になったきょうりゅうの話 111~117

- 大昔の恐竜が、実は鳥として生き残つていたという事実を述べた説明文です。
- 恐竜が鳥として生き残つた経緯を読み取ります。

- 1 恐竜にいろいろな種類がいた。  
・ 草食や肉食のもの。  
・ うろこや羽毛に覆われたもの。  
・ 大きいものや犬や猫ぐらいのもの。
- 2 長い年月を経て、木の上で暮らし、空を飛ぶものが  
あらわれた。
- 3 空を飛べる恐竜の子孫だけが生き残り、さらに小さく軽い体になった。

